

解雇問題を解決し
安全・安心のJALを

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.899(32-9) 2017年11月13日

日航は統一要求に答え争議を早期に解決せよ

10月に入り、当該の日航乗組・CCUは秋季年末闘争で不当解雇撤回争議の早期解決に向け、統一要求に基づく協議の開始を求めて運動を進めています。11月1日に示された統一要求への回答は「これまでお伝えしている通りです」という“ゼロ回答”。当該は11月17日を山場に前進をめざします。本号では、秋季年末闘争の前段、10月に取り組まれた主な行動を紹介します。

10月3、4日

日航は早期解決求め座り込み

10月3、4日の2日間、定例のJALプラザ前の座り



込みを実施しました。JALプラザは日本航空の座席予約や航空券発券などを行う

JAL100%出資の子会社JALナビアが運営する店舗で、首都圏では日航の顔ともなっている発券店舗です。日航も集客を目指してJALプラザ前を活用し様々なキャンペーンを度々行っています。日航を利用するお客様や近隣を歩きかう人々にJALの解雇争議支援を訴えるとともに、日本航空に解決の決断を促しアピールするうえで絶好の場所であることから毎月の定例行動として実施しています。

10月20日

GJ連絡会 新宿デモでアピール

東京西部のGJ連絡会（原発のない社会実現とJALの不当解雇を許さない連絡会）は10月20日、日航に早期解決を迫る運動の一環として、新宿デモを実施しました。

雨天の中でデモはスタート。雨天を吹き飛ばす元気なシュプレヒコールで



【写真】新宿を行くGJ連絡会のデモ行進

新宿をデモ行進する中、雨も一時止みました。参加したみなさん、ご苦労様でした。

羽田・成田空港でお客様に訴え

原告団が中心となり取り組んでいる羽田・成田空港での宣伝行動。10日羽田で、19日には成田で実施しました。羽田は旅客ターミナルビルの軒下でのチラシ配布ですが、成田空港ではターミナルビル内の、旅客カウンター付近で、チェックインに訪れるお客様にも直接チラシを手渡しています。

【写真】成田空港での宣伝。奥は日航の旅客カウンター



争議団・当該労組

連日 オペセンビラで頑張っています

また、今年4月から連日（土日、祝日を除く）にわたり実施している成田オペレーションセンターの玄関ビラも、継続しています。10月からは秋季年末闘争に入ることから、年末一時金、勤務や人員問題、さらには年休取得難等々、職場要求も積極的に取り上げて宣伝。また、解雇問題では統一要求に基づく解決交渉に踏み出していない会社の不当な対応も知らせ、職場要求の実現と合わせて要求の実現をめざそうと呼びかけています。





日航は統一要求に答えよ！
10月26日 東京争議団総行動

10月26日東京争議団総行動

日航は統一要求に答え解決をはかれ！

10月26日には、東京争議団の総行動が取り组まれました。日航に争議の早期解決を求めて本社前での宣伝とともに要請団による要請行動を実施。主催者あ



いさつに立った東京争議団共闘の小関議長は、「解雇争議を解決するには労使で話し合うしかない」「どう話し合い解決するかは、当該労組が提出している解決に向けた統一要求が具体的に示している」「日航は直ちに話し合いの席に着き、解決に踏み出すべきである」と述べました。まさにその通りです。日航は今こそ、統一要求に基づく解決に向けた交渉＝CCUと日航乗組との合同団交を直ちにに応じるべきです。【写真】要請文を提出する小関議長

さつに立った東京争議団共闘の小関議長は、「解雇争議を解決するには労使で話し合うしかない」「どう話し合い解決するかは、当該労組が提出している解決に向けた統一要求が具体的に示している」「日航は直ちに話し合いの席に着き、解決に踏み出すべきである」と述べました。まさにその通りです。日航は今こそ、統一要求に基づく解決に向けた交渉＝CCUと日航乗組との合同団交を直ちにに応じるべきです。【写真】要請文を提出する小関議長

当該労組が連名で提出している統一要求

- ①職場復帰を希望する被解雇者全員を職場復帰させること。
- ②人員不足に起因する高稼働、過酷な勤務を改善し、全ての乗務員が健康で安心して働ける職場とするために再雇用を希望する希望退職者・特別早期退職者に、再雇用への道筋をつけること。
- ③争議状態を円満に解決する為に、被解雇組合員や組合が受けた多大な不利益や負担を補填すること。
- ④争議解決を通じて、労使関係の正常化、職場の信頼感の再構築、安全運航の推進に全力を挙げること。

10月14日

働く女性中央集会 参加者と銀座をデモ

10月14日には働く女性の中央集会が開かれました。

集会では客乗争議団の内田団長が闘いの現状報告をし支援を訴えるとともに、早期解決に向けての決意を表明しました。集会後、多くの集会参加とともに、銀座をデモ行進しました。



集会後、多くの集会参加とともに、銀座をデモ行進しました。

目黒駅で初の合同宣伝(10月17日)

10月17日、目黒駅で「JAL 不当解雇撤回・地域合同宣伝」が取り组まれました。呼びかけは「闘う仲間を励ますめぐろ団結ビアパーティー実行委員会」。当日は、目黒労協、目黒区労連、土建目黒支部、自交高砂労組、国民救援会目黒支部等地域の労組・民主団体の方々、そして JAL 争議団で 30 名以上が参加。JAL 争議に特化した宣伝は、目黒区では初めてです。「またやろう」との声が多く聞かれた宣伝行動となりました。

